

東京都青少年の健全な育成に関する条例改正案に関する意見表明

2010年3月15日

子どもの人権と表現の自由を考える会

代表：新川 淳平

情報担当者：小島 朗

我々児童ポルノの根絶を目指す、『子どもの人権と表現の自由を考える会』は、12日に東京都並びに石原慎太郎知事から提出された、「東京都青少年の健全な育成に関する条例」改正案に対し、明確に反対である事を意見表明します。

同条例改正案にあたり、当会が昨年から問題視してきた東京都青少年部会における、『差別を容認する考え』『自ら差別を生み出そうとする考え』『大衆を無駄に煽り、自分達の意見を押し通す為なら、大衆を洗脳する事も辞さないといった考え方』が根底に存在する事は明らかであり、この条例案自体が反社会的な内容に満ち満ちていて、民主主義国家・法治国家への戦線布告であると捉える事ができます。

また、当会では『性同一性障害は趣味嗜好』だと公式文章に掲載し続けている東京都に対し、人権の在り方と児童の将来を考えるべき大人としての立場から、青少年部会そのものの是正並びに文章の訂正と経緯説明を求めます。

「子どもの人権と表現の自由を考える会」では、児童ポルノの根絶に向けた案を独自策定中であり、現行法や単純所得案のような恣意的、差別的な案に依らない児童ポルノの根絶に向け邁進しております。

子どもの人権を考えまた、全ての人権も尊重する当会において、東京都の提出したような弱者を平気で狙い打つようなやり方は到底容認できるものではありませんし、また東京都のように弱者を平気で狙い打つという考え方そのものが児童ポルノを初めとした児童虐待の温床であると当会では考えています。

上記のような考えから、当会では東京都青少年健全育成条例改正案に明確に反対表明を行い、また人権について常日ごろから考えていただいている都議会議員の方々も同様に反対していただけるものと確信しております。

本文に関しては、『差別を容認する』という東京都の在り方を正すため、送付先一覧における人物への本文の送付、並びに当会WEBページ上において本文・添付先一覧を含めた全文公開を行っております事をご了承下さいますようお願い申し上げます。

送付先一覧

日本国内閣総理大臣 鳩山 由紀夫 様
法務大臣 千葉 景子 様
文部科学大臣 川端 達夫 様

自民党総裁 谷垣 禎一 様
民主党幹事長 小沢 一郎 様
国民新党代表 亀井 静香 様
社民党代表 福島 瑞穂 様
公明党代表 山口 那津男 様
新党日本代表 田中 康夫 様
みんなの党代表 渡辺 嘉美 様
共産党委員長 志位 和夫 様

東京都議会議長、民主党会派団長 田中 良 様
東京都議会副議長 鈴木 貫太郎 様

都議会民主党会派副団長 馬場 裕子 様
同会派幹事長 大沢 昇 様

都議会自民党会派幹事長 川井 しげお 様
同会派幹事長代行 鈴木あきまさ 様

都議会公明党会派団長 木内 良明 様
同会派副議員団長 ともとし 春久 様

日本共産党東京都議会議員団団長・幹事長 吉田 信夫 様
副幹事長 清水ひで子 様

都議会生活者ネットワーク・みらい幹事長 西崎 光子 様